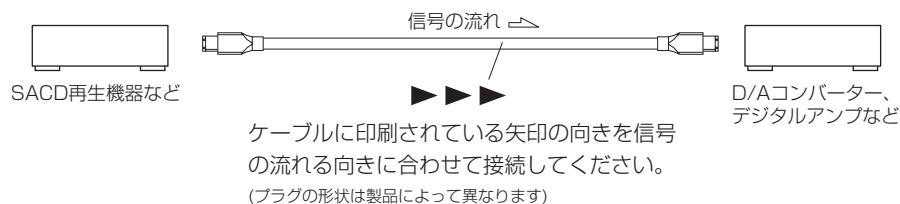


接続方法

プラグをi.LINK(AUDIO)端子にしっかりと差し込んでください。



仕様

導体.....	Stressfree 8Nクラス Cu
芯線.....	φ0.12×5本×6
構造.....	6芯撚り構造
ケーブル外径.....	7.8mm±0.2mm
プラグ.....	真鍮削り出し/肉厚24K直金メッキプラグ
ケーブル全長.....	1.0m(標準仕様)

- 「i.LINK」は、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様を示す呼称です。iは、i.LINKに準拠した製品につけられるロゴです。「i.LINK」とiはソニー株式会社の商標です。
- 本製品は、i.LINK端子が搭載されているS100/S200/S400対応の機器にご使用いただけます。
- i.LINK端子を持つ機器同士の接続でも、伝送フォーマット(信号圧縮方式など)の違いにより正常に動作しない場合があります。接続する機器が同じ伝送フォーマットであることをご確認ください。また、各機器間の動作については、機器のメーカーにお問い合わせください。
- 製品の仕様は、改良などのため予告なく変更することがあります。



Stressfree 8N i.LINK Cable

株式会社ティアック エソテリック カンパニー

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

<http://www.teac.co.jp/av>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~12:00/13:00~17:00です。

AVお客様相談室

 **0570-000-701**
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



MADE IN JAPANの真実

6NCuの開発は日本鉱業株式会社(現・日鉱マテリアルズ社)が1985年に研究開発に着手し、1987年に量産化に成功。現在の6N以上の高純度銅の需要の大半は、1997年に開発実用化が図られた高集積度半導体用の配線素材であり、これに使用されている高純度素材の量産生産者は「日鉱マテリアルズ社」と「三菱マテリアル社」の2社に事実上限定されているのが世界的な現状です。実体として高度な品質保証を要求する半導体業界では上記2社の素材以外の高純度銅は製品の量産に用いられていないと考えられます。

アクロリンクはこの2社と提携、分析値保証を受けた真の6N以上のCuを使用する*世界唯一のケーブルメーカーです。

現在、オーディオケーブルの分野では銅の母材品位を6N、7N、8Nなどと表記されることが多く見られますが、本来、銅の母材品位は差数法で計算されるべきもので、厳密には周期律表の銅以外の全ての金属元素(不純物)を測定し合計を100から差し引いた値が純度として表記されるべきものです。しかし、オーディオケーブルの規格として表示基準がない現状では、どの不純物をカウントし、あるいは除外するかによって品位の計算値(純度表示)は変わってしまいます。つまり、値の高い不純物元素を意図的に仕様対象から外すことすら不可能ではありません。

たとえば、ごく一般的な日本の銅地金(電気銅)は4N5=99.995純度ですが、特に値(含有量)の高い不純物はAg等数元素であり、たとえばそのAgを差数法の対象から外した場合、Agはおおむね10ppm程度ですからすぐにその銅は5Nを超える表示が可能となってしまいます。

アクロリンクがプロデュースシティアックエソテリックカンパニーが取り扱うエソテリックのケーブルは、自主的に規定する8N銅として高度な品質保証を要求する半導体用途と同等の母材生産プロセスによって生産された、厳密に99.999999%以上の純度を有するものであって、金属不純物のトータル数が0.01ppm以下である事を原則としており、6NCu材のさらに^{ジーディーエムス}100分の1の不純物の含有量を誇ります。純度6N以上の高純度銅の不純物測定にはGD-MSと呼ばれる微量測定装置を用いて大半の分析が行われており分析作業自体も高度なノウハウが必要とされます。

アクロリンクでは、他ブランドに先駆けて数十種におよぶ分析項目の内、音質に影響があると思われる代表的な元素の分析値を公開。圧倒的な品質によって達成したハイスピード&ハイレスポンス、パワフルかつ繊細、ナチュラルな直接音と澄み切った間接音など、全く新しい音表現をすべてのオーディオファイルに向けて発信して行きます。

独創のストレスフリーの8NCu

ストレスフリー加工は8N素材同様に大きな特長であり、基幹技術でもあります。純度を高め、結晶粒を大きくし、原子配列を極めて健全に仕上げた素材であっても、様々な段階で曲げなどの外部応力が加わることを避けることはできません。この際、歪み欠陥と呼ばれる乱れが生じる場合があります。

通常、伸線加工時にはアニール加工を施して結晶粒の成長を促し、大きな組織に還元しますが、問題はリールに巻かざるを得ない流通過程や配線時にも同様に外部応力が加わる点です。

エソテリックのストレスフリー製品は独自の特殊焼鈍処理と高純度銅の特性により、あまりに大きな外部応力でない限りセルフアニール現象で組織を健全な状態に復元することを実現した、世界でも*唯一のケーブルです。伸線加工後の加熱処理時点で原子配列の転移は通常の4N銅に比べ1/10倍のオーダーを達成、結晶粒の数も1/80~1/100となっています。さらに電流が流れることによってエージング=セルフアニール環境が促進され残留歪が減少し組織が健全に回復して、より高音質化するので。

* 2004年12月1日現在

ESOTERIC i.LINKケーブルの最高特性を引き出す、特注の新設計プラグ

ESOTERIC i.LINKケーブルの最高特性を引き出すため、プラグの設計にもESOTERICのノウハウを投入し、新規に開発しました。

コネクタ部には24K直金メッキを施しました。音質に対する優位性はもちろんのこと、接触抵抗の増大を防ぐと共に耐食性に富み、耐摩耗性など経年変化の防止に大変優れています。

また、新規開発の真鍮削り出し/肉厚24K直金メッキのプラグハウジングを採用し、ケーブルの屈曲や振動による悪影響を極力排除しています。

これらのノウハウにより、Stressfree 8Nクラス高純度銅素材の最高特性を引き出し、高解像度、低域のトランジェント特性、さらに音場空間情報など、コンポーネントの持てる性能を極限まで高めます。

ケーブルの内装、被覆外装にもこだわりとノイズ対策を徹底

信号線の絶縁体はポリエチレン素材にアルミ箔テープ、6N銅線編組シールドで被覆。撚り合わせた線材を更に6N銅線編組シールドと編組ポリウレタン皮膜銅線により2重にシールド。

このような徹底的なノイズ対策構造により、静電誘導によるノイズや電磁波ノイズ等、低周波から高周波まであらゆる帯域のノイズを吸収し、デジタル信号の正確な伝送を実現するとともに、濁りが無く、抜けのよいワイドレンジ再生を可能としています。また、外被覆はUVポリウレタンで構成し、紫外線など環境要因からの経年変化を防いでいます。

